

No.1
2026

福士の“F” Faith in the Future

一緒に青森の未来を創る
地域の声を国の政策へ届ける
課題と向き合い、毎月活動レポートをお届けします。

立憲民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan

青森県版号外

立憲民主党 立憲民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル7F
Tel.03-3595-9988/fax.03-3595-9088
立憲民主党 青森県参議院選挙区第2総支部
〒030-0822 青森市中央1-5-1 中央1丁目ビル2F
Tel. 017-718-8512/fax. 017-718-8513

4

April

3月24日発行

参議院議員

福士ますみ

活動
レポート

Report

Report 12/5【災害対策震災復興特別委員会】国会 初質疑

「防災庁の地方拠点を青森に！」

「参議院災害対策及び東日本大震災復興特別委員会」において、参議院議員として初の国会質疑に立ちました。防災担当大臣に対し2026年度中に設置予定の防災庁の地方拠点として、ぜひとも陸海空の自衛隊拠点が揃う青森県への設置検討を!と要望。また、年度末が期限だった寒冷地道路の凍上災害にも適用される「緊急自然災害防止対策事業債(緊急債)」の期間延長を求め、梶原総務大臣政務官からは事業期間を延長し、対象範囲を拡充するとの答弁がありました。更に、豪雪期の除排雪について人手不足や多発する事故実態などを問題視し、豪雪地帯向けの交付金の有意義な活用や安全対策の周知強化などを強く国交省に要望しました。



国会議員として初の質疑

Report 3/9【行政監視委員会】初質疑

「災害時 国と自治体のあるべき役割連携とは!？」

「国と地方の行政の役割分担」をテーマに、専門知見を有する大学教授ら(参考人)に対して初質疑。青森市の豪雪を例に、除排雪対応や災害時の国と地方自治体の連携の在り方を問い、除排雪車両の供給や不足する職員の人員配置等、管理枠を超えた構造改革の必要性について訴えました。参考人からは「災害時対応も前提にした余裕ある職員体制整備の法制化や、複数自治体を跨ぐ広域融通や人材運用の検討、連携機能の実態調査強化」などといった指摘とご提案をいただきました。



立憲民主党会派を代表して質疑

Profile プロフィール

1965年3月24日生まれ、五所川原市金木町出身、東北町立寒水小学校(現 東北小学校)、平内町立小湊中学校、青森県立青森高等学校(33回生)、日本大学法学部新聞学科(牧田ゼミ)
(株)青森テレビATV(アナウンサー/報道記者/プロデューサー)
(株)BLUE LINK PROJECT(「あおり藍」を活用した商品開発・販売)

公式HP

Instagram

福士ますみ事務所
〒030-0822 青森県青森市中央1丁目5番1号 中央1丁目ビル2階
tel. 017-718-8512 / fax.017-718-8513
e-mail fukushimasumi.office@gmail.com
東京事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1102号
tel. 03-6550-1102 / fax.03-6551-1102



FUKUSHI_MASUMI

あおり
愛



3/1 中泊町議の集会で国政報告

「地域の声に触れ、思い新たに」

中泊町の鈴木長一郎町議会議員の町政報告会にお招きいただき、岡田はなこ氏と共に参加してまいりました。鈴木氏後援会の皆さまの温かさと、農政や防災に対する意識の高さに触れることができました。国政を志し、政治活動をスタートさせたのがちょうど1年前。地域の声に触れ、思いを新たに精進いたします。



支援者一人ひとりと意見を交わす



国会での活動を報告



3/7 りんご樹及びビニールハウス雪害視察

「山間部のりんご園被害大きく」



園主からの被害状況を聞く参加議員ら

立憲民主党青森県連で、雪害に見舞われた弘前市高野のりんご園と西目屋村田代のビニールハウスの視察に赴きました。園地では、ピーク時 2.5m ほどの積雪があり、樹上には 1.5m の雪の塊が載った状態だったとか。8 割方、幹や枝が割れたり折れたりしてしまっていて、収量は例年の半分くらいに落ち込むかもしれないとのことでした。手を尽くしても、自然の猛威の前では無力に等しく。「守りきれなかった…」傷んだ樹々を見つめながら眩く園主の言葉に胸が締めつけられました。国、県、市町村が連携して支援策を講じ、一日も早く不安が払拭されるよう尽力して参ります。



3/8 十和田子ども食堂緊急支援視察

「現場の声から考える子どもや子育て世代への支援」

十和田市を拠点に活動する、十和田子ども食堂を訪問しました。全国で1万2千か所以上、青森県内でも約100か所に広がる子ども食堂は、物価高の影響で利用者が増えています。十和田子ども食堂実行委員会は、バスで県内40市町村を巡りながら活動を続けています。この日も食品の無償提供を求めて多くの方が訪れていました。ひとり親家庭を中心に、子育てと仕事を両立しながら懸命に暮らす保護者の話を伺い、子どもや子育て世帯を社会全体で支える仕組みの必要性を改めて強く感じました。子どもたちの未来のため、現場の声を政策につなげてまいります。



利用するご家族から意見を聴取
(写真右は水尻十和田子ども食堂実行委員会代表)

福士珠美国会所属委員会と党務

参議院所属委員会

- 【第一種常任委員会】経済産業委員会
- 【第二種常任委員会】行政監視委員会
- 【特別委員会】災害対策及び東日本復興特別委員会
- 【調査会・審査会】国際問題に関する調査会
- 立憲民主党 党務
- 【参議院議員国会対策委員会】副委員長
- 【企業・団体交流会】副委員長
- 【ジェンダー平等推進本部】副事務局長
- 【東日本大震災復興本部】事務局長代理
- 【立憲民主党青森県総支部連合会】副代表
- 【立憲民主党青森県参議院選挙区第2総支部】総支部長

Message 福士ますみから皆さまへ

日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。国政の場に立ち、改めて実感するのは、現場の声の重みです。豪雪や災害への備え、農業をはじめ地域産業を守ること、安心して暮らせる地域づくり—地元で伺ってきた皆さまの声を胸に、一つひとつ政策として国に届けてまいります。これからも地域の未来のため、現場第一で全力を尽くしてまいります。

